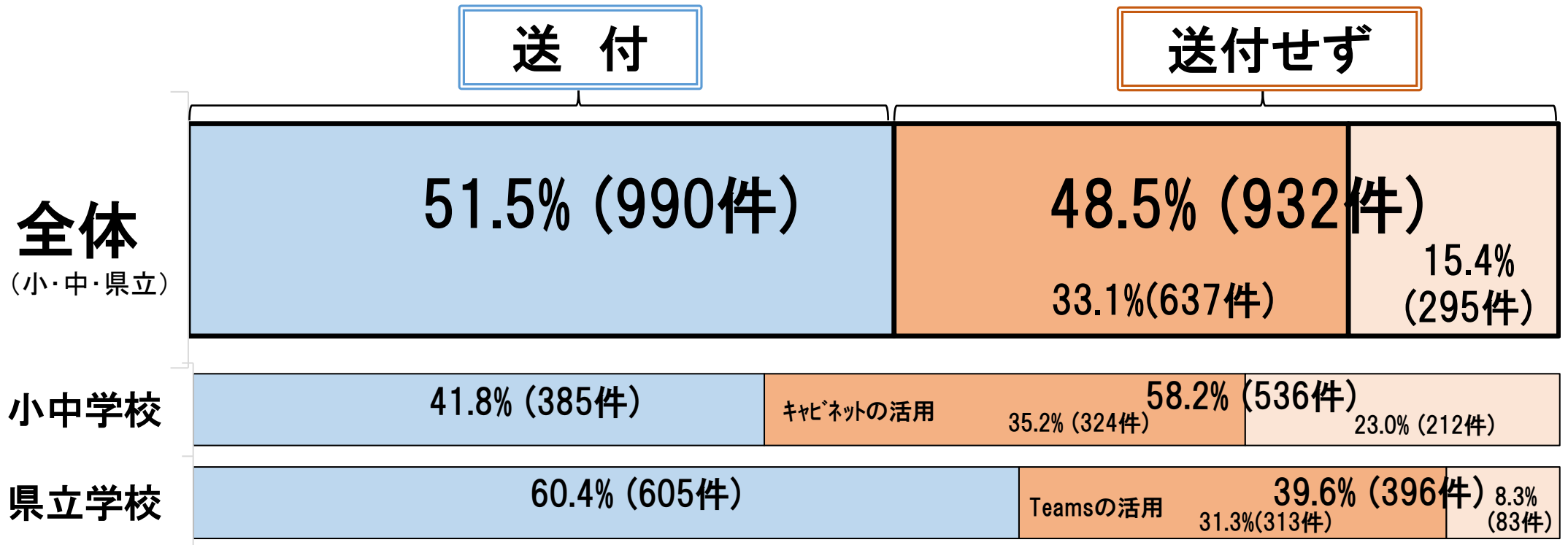


【1年間（令和5年4月11日～令和6年3月29日）の取り組み状況結果】

- ◆ **公立学校全体で、学校現場への送付が念頭に置かれている文書のおよそ半分を削減**
- ◆ **小中学校では半分以上を、県立学校では4割を削減**
- ◆ グループウェア（キャビネット）やTeamsによるデータを共有する仕組みを効果的に活用

## 県教委から学校への文書送付の状況（1年間の合計）



### 【共有・対応の必要性が高く学校まで送付したもの】

- ・学校運営上、緊急性の高い又は変更を伴うもの
- ・児童生徒の健康安全に関するもの
- ・法定研修
- ・人事や服務、入試関係
- ・必須の会議や研修の開催通知
- ・学校現場でしか把握できない調査や報告など

### 【内容に応じて共有・活用

#### できるようにしたもの】

- ・毎年度、繰り返し周知されるもの
- ・利用の可能性のある参加・募集案内データ
- ・教科指導等の研修・研究会の案内

### 【共有の必要性が低く、一切送付しなかったもの】

- ・利用の可能性がほぼない公募・研修等
- ・軽微なお知らせ

### 【市町村教委まで送付したもの(小中学校)】

- ・校長会等、他の機会でも周知可能なもの
- ・市町村教委で回答可能な調査

## 【学校現場への文書半減プロジェクトの効果】

- ◆ 学校現場で文書処理に費やす一週間あたりの時間数は、文書半減プロジェクトの開始時（令和5年5月）と実施後（令和6年2月）で比較すると、全職種において、処理時間が減少
- ◆ 特に、文書処理業務が多い教頭や事務職員において、大きな効果

## 文書処理に費やす一週間あたりの時間数の変化

※ 教育委員会調査をもとに作成

### 校長

**△1.33時間**  
22.1% 削減

6.02時間  
4.69時間

開始時(5月) 実施後(2月)

### 教頭

**△3.00時間**  
28.8% 削減

10.42時間  
7.42時間

開始時(5月) 実施後(2月)

### 教諭

**△0.48時間**  
14.6% 削減

3.30時間  
2.82時間

開始時(5月) 実施後(2月)

### 事務職員

**△4.67時間**  
36.8% 削減

12.71時間  
8.04時間

開始時(5月) 実施後(2月)